

【2022年度】TUFS データサイエンス教育プログラム（たふDS）  
自己点検・評価結果について

## 1. 実施体制

- ◆国立大学法人東京外国語大学総合戦略会議  
教育アドミニストレーション・オフィス データサイエンス教育部会

において、自己点検・評価を実施した。

### < 構成員 >

・副学長		青山	亨	○
・大学院総合国際学研究院	教授	佐野	洋	
・大学院総合国際学研究院	准教授	望月	源	
・大学院総合国際学研究院	准教授	出町	一恵	
・大学院国際日本学研究院	准教授	甕	隆博	
・大学院国際日本学研究院	教授	林	俊成	
・世界言語社会教育センター	准教授	東城	文柄	

○=部会長

## 2. 自己点検・評価の観点

次の観点に基づき、自己点検・評価を実施した。

- (1) プログラムの履修・修得状況
- (2) 学修成果
- (3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度
- (4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度
- (5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況
- (6) 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること
- (7) 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること
- (8) 学外からの視点

### 3. 自己点検・評価結果

2022年度における自己点検・評価結果は、次のとおりである。

観点ごとの自己点検・評価結果					
(1) プログラムの履修・修得状況					
【リテラシー・レベル】					
<ul style="list-style-type: none"><li>・構成する授業科目における受講者の「単位修得率」（単位修得者/受講者数）は、平均で82.8%であった。</li><li>・上記の状況から、受講者は、おおむね順調に単位を修得したと判断する。</li></ul>					
【リテラシー・レベル以外】					
<ul style="list-style-type: none"><li>・構成する授業科目における受講者の「単位修得率」（単位修得者/受講者数）は、平均で87.3%であった。</li><li>・上記の状況から、受講者は、おおむね順調に単位を修得したと判断する</li><li>・全体の状況は上記のとおりであるが、個々の授業により数値にばらつきがある。構成する授業科目の内容は多様であり、授業の内容や進捗により、受講者の興味・関心によっては、途中で離脱した者もいると推察される。関係教員間で情報の共有を図り、今後の検討に資することとする。</li></ul>					
(2) 学修成果					
【リテラシー・レベル】					
<ul style="list-style-type: none"><li>・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q12. 業の履修前と比べて自分の知識や能力に伸長があった」及び「Q7. 後の学習意欲がわく授業だった」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。</li></ul>					
<table border="1"><thead><tr><th>Q12. 知識や能力に伸長があった</th><th>Q7. 今後の学習意欲がわく</th></tr></thead><tbody><tr><td>87.3%</td><td>71.1%</td></tr></tbody></table>	Q12. 知識や能力に伸長があった	Q7. 今後の学習意欲がわく	87.3%	71.1%	
Q12. 知識や能力に伸長があった	Q7. 今後の学習意欲がわく				
87.3%	71.1%				
<ul style="list-style-type: none"><li>・上記の状況から、学修成果はおおむね順調にあがっていると判断される。</li></ul>					
【リテラシー・レベル以外】					
<ul style="list-style-type: none"><li>・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q12. 業の履修前と比べて自分の知識や能力に伸長があった」及び「Q7. 後の学習意欲がわく授業だった」</li></ul>					

に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q12. 知識や能力に伸張があった	Q7. 今後の学習意欲がわく
86.8%	71.8%

- ・上記の状況から、学修成果はおおむね順調にあがっていると判断される。

### (3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

#### 【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q6. 内容が充実した授業だった」及び「Q5. 義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q6. 内容が充実した授業だった	Q5. 講義内容はわかりやすかった
77.5%	90.5%

- ・上記の状況から、学生の内容の理解度はおおむね順調に得ていると判断される。

#### 【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q6. が充実した授業だった」及び「Q5. 義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q6. 内容が充実した授業だった	Q5. 講義内容はわかりやすかった
68.9%	82.7%

- ・上記の状況から、学生の内容の理解度はおおむね順調に得ていると判断される。「Q6」については、やや肯定的な回答の割合が低いですが、構成する授業科目の内容は多様であり、授業の内容や進捗により、受講者の興味・関心によっては、途中で離脱した者もいると推察される。関係教員間で情報の共有を図り、今後の検討に資することとする。

#### (4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

##### 【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q13. 総合的に見てこの授業に満足した」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q13. 総合的に見てこの授業に満足した
90.5%

- ・上記の状況から、他の学生への推奨度は順調に得ていると判断される。
- ・また、個々の授業に関する自由記述の設問において、肯定的なコメントも寄せられている。

##### 【リテラシー・レベル以外】

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q13. 総合的に見てこの授業に満足した」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q13. 総合的に見てこの授業に満足した
81.7%

- ・上記の状況から、他の学生への推奨度はおおむね順調に得ていると判断される。
- ・また、個々の授業に関する自由記述の設問において、肯定的なコメントも寄せられている。

#### (5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

##### 【リテラシー・レベル】

- ・構成する授業科目3科目における総受講者数は、合計で延べ99名であった。
- ・実際の計画（数値目標）は、2023（令和5）年度以降についてたてられたものであるが、本プログラムに係る本学HPの充実を図ることにより、一層の周知を行う必要がある。
- ・本プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」への申請を予定しており、

認定を得た場合、広報も兼ねて、本学HPや学務情報システムを通じて、学生への周知を図ることを予定している。

**【リテラシー・レベル以外】**

- ・履修者数や履修率に関して、特段の計画を立てていないが、向上に向けて、リテラシー・レベルも含めて、学生への一層の周知を図ることとする。

**(6) 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること**

**【リテラシー・レベル】**

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q7. 後の学習意欲がわく授業だった」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q7. 今後の学習意欲がわく
71.1%

- ・上記の状況から、学ぶ楽しさ・意義の理解度についてはおおむね順調に得ていると判断される。

**【リテラシー・レベル以外】**

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q7. 後の学習意欲がわく授業だった」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q7. 今後の学習意欲がわく
71.8%

- ・上記の状況から、学ぶ楽しさ・意義の理解度についてはおおむね順調に得ていると判断される。

**(7) 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること**

**【リテラシー・レベル】**

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q5. 義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q5. 講義内容はわかりやすかった
90.5%

- ・上記の状況から、分かりやすい授業であることについて、学生の理解度は、順調に得ていると判断される。

**【リテラシー・レベル以外】**

- ・構成する授業科目について、各学部で実施している「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q5. 義内容はわかりやすかったか」に関して、学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、以下のとおりである。

Q5. 講義内容はわかりやすかった
82.7%

- ・上記の状況から、分かりやすい授業であることについて、学生の理解度は、おおむね順調に得ていると判断される。

**(8) 学外からの視点**

**【リテラシー・レベル】**

- ・文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育リテラシープログラム（リテラシーレベル）」の認定を受けた場合は、実際には 2023 年度末に修了者が出る予定である。
- ・実際に修了者が出る次年度以降、学外からの視点（「教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価」や「産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見」）については、今後、卒業生や企業アンケートを通じて得ることを検討してはどうか？

**【リテラシー・レベル以外】**

- ・リテラシー・レベルでの検討状況に併せて、対応を図ってはどうか？

以上